

伊賀の自然 第9回

『モチツツジ』



モチツツジの紅葉



モチツツジの初夏の花



モチツツジの狂い咲き

12月に入って、紅葉が盛りです。このモチツツジは伊賀ではどこの山でもみられるツツジですが、紅葉の時期が遅く、赤や黄色が鮮やかできれいなので私が好きな樹木です。モチツツジの名前は「葉や特に花に、ネバネバした粘液があり、餅のようだ」というところからきています。花が咲くのは春から初夏ですが、この時期、狂い咲きと言ってまれに花をつけていることがあります。何かの異変の前兆か？と騒がれることもあります。毎年見られる現象なので心配はいりません。

伊賀の山並み 高旗山

上野市街地から北を見るとすっとそびえ立っているのがこの高旗山です。江戸時代中期から明治にかけて、大坂と江戸の間で米相場を伝えるのに、旗振り通信を使っていました。見晴らしの良い山頂で、1m くらいの大きな旗を振ってリレーしたのです。この高旗山もその一つだったようです。大坂から桑名まで約 10 分、江戸までは、途中箱根越えは飛脚を使ったので、1 時間半から 8 時間で届いたそうです。当時は最速の通信手段でした。

上野側からは高旗山に登るには、たいへん急な坂を上りやっとたどり着くと、伊賀盆地が一望の元に見渡せます。花火も下の方で小さなボールのように見えます。一方反対側の滋賀県側は田畑のある平らな丘陵地で、高い山の山頂らしくはなく、琵琶湖に向かってゆっくり下って行きます。横から見るとよくわかります。典型的な活断層なのです。この活断層による地震は、最近では江戸時代の 1854 年に起こりました。それから約 200 年。そろそろか？いや当分大丈夫、と 2 つの説があります。いずれにしても用心するに越したことはありません。



高旗山



高旗山横から

武田恵世

歯科医師、歯学博士 伊賀市上野桑町で開業。伊賀市環境保全市民会議 レッドデータブック作成委員会 委員長。環境省希少野生動物植物種保存推進員。日本鳥学会、日本生態学会 会員他。著書に「風力発電の不都合な真実」(アットワークス刊)などがある。